

宝達山

今月の目標

- ☆生活目標 時間を守ろう
- ☆保健目標 歯を大切にしよう
- ☆給食目標 食べ物の衛生に気をつけよう
- ☆安全目標 雨の日の安全に気をつけよう

＝よく頑張った町陸上競技大会＝

6月5日（火）に宝達中学校で、第14回宝達志水町小学生陸上競技大会がありました。青空の下、町内5校、96名の6年生が「走」「跳」を競い合いました。

本校から11名が参加しました。どの子も最後まであきらめることなく全力で競技をしていました。その姿は本校の目指す「たくましくやりぬく子」の姿として、また、友達の頑張りを一生懸命応援する姿は「思いやりのある子」としてうつりました。精一杯やりぬこうとする気持ち、友達を思いやる心の温かさが伝わってきました。6年生の皆さん、練習に、競技に、応援に、そして、後片付けに、しっかり頑張ることができましたね。

上位入賞者は下記の通りです。

6年男子走り幅跳び 5位 久保 虎太郎

6年男子走り高跳び 3位 山田 悠陽

6年女子走り高跳び 2位 藤本 愛海

3位 山田 ななみ

4×100mリレー 3位 宝達小学校

（水野瑛史・山田悠陽・藤本愛海・久保虎太郎）



応援の様子

<心温まる光景>

この陸上競技大会で、とても素敵な光景を目にしました。それは、女子走り高跳びの競技中のことです。5校から集まった選手達ですが、どの選手も、クリアーできた選手に対して拍手を送っていました。特に先生に言われたわけでもなく、だれからともなく自然とわいてでてきたようです。見ていてとても清々しく温かい気持ちになりました。



女子走り高跳びの様子

陸上競技は、直接相手と対戦し勝ち負けを競う競技ではなく、どちらかという自分の記録に挑戦する競技です。心に少しゆとりがあれば、健闘をたたえやすいスポーツです。相手の健闘をたたえることができることはとても素敵なことです。実際に経験できた子はしあわせだと思います。まずは、自分の力を出し切り、自分自身の健闘をたたえることができることが大切ですが、相手の健闘をもたたえることができる「宝達っ子」になってほしいと思います。